



# 竹下景子

## 詩の朗読と

1.17から3.11まで

## メモリアルコンサート



竹下景子

1995年1月17日は私たちにとって、  
永遠に特別の日であり続けます。



林晶彦

20年を経てまちの相貌に大震災の傷跡を見出しにくいほど、  
復興を遂げたかのように見えるのかも知れません。



金関環

しかし、今なおケアが必要な方々も含めて、多くの課題が残り、

未曾有の災禍は日本の構造的脆弱性を直撃し、

私たちの奥深くに突き刺さったままです。

阪神・淡路大震災の20年を想い、

復興のシンボルである県立芸術文化センターでの竹下景子さんの朗読と

コンサートは、深いメモリアルとして明日への希望の

メッセージでもあります。



吉田剛士

マリオネット



湯浅隆

出演：竹下景子(朗読)／林 晶彦(ピアノ)／金関 環(ヴァイオリン)  
マリオネット(ポルトガルギター & マンドリン)  
ZIPANGU「絆」マンドリンオーケストラ  
伝三F(パントマイム)／オリンピア都・神戸北保育園

日時：2015年1月18日(日)

14時開演(13時30分開場)

会場：兵庫県立芸術文化センター阪急中ホール  
〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-2-2

入場料：前売り2,500円 当日3,000円(全席自由席)



ZIPANGU「絆」マンドリンオーケストラ

チケット取り扱い  
芸術文化センターチケットオフィス：0798-68-0255 10:00AM~5:00PM 月曜休み ※祝日の場合翌日  
兵庫県民会館：078-321-2131 / オフィス・マリオネット：06-6882-5373

お問い合わせは  
実行委員会事務局：078-230-9774 (FAX)0797-69-7337  
[http://www.geocities.jp/roudoku\\_117/](http://www.geocities.jp/roudoku_117/)



## 竹下景子

### 詩の朗読と

1.17から3.11

### メモリアルコンサート

復興支援コンサート実行委員会は、震災直後から被災者のこころの癒しと、被災地の文化的復興のために活動を続けてきました。その中心プログラムとして、震災等の災害関連の全国公募詩を女優の竹下景子さんが朗読する【詩の朗読と音楽の夕べ】は、今3.11の仙台に引き継がれ、東日本の復興をお手伝いしています。そして、これまで寄せられた約2500通余りの詩の中から詩集『明日への記憶』として編纂され、全国の図書館等に寄贈されました。今、多くの学校等で防災教育やこころの教育の教材として活用されています。震災の記憶を明日への希望として継承したいとの想いです。



日時：2015年1月18日(日)  
14時開演(13時30分開場)

会場：兵庫県立芸術文化センター 阪急 中ホール



- 阪急電鉄神戸線「西宮北口」より南へ徒歩2分 ※大阪・梅田からも、神戸・三宮からもホールまで15分!
- JR「西宮」より北東へ徒歩15分 ※バスご利用の場合、西宮駅北側ターミナルから、阪急バスにて「西宮北口駅」下車

実行委員会構成機関・NPO法人・団体等  
兵庫県復興支援課/アートサポートセンター神戸/神戸文化支援基金/兵庫県子ども文化振興協会/神戸芝居カーニバル実行委員会/市民活動センター神戸/神戸学生青年センター/ゆめ風基金/コミュニティサポートセンター神戸/しみん基金.こうべ/阪神高齢者・障害者支援ネットワーク/神戸まちづくり研究所/被災地NGO協働センター/CODE海外災害救援市民センター/FMわいわい/CAPセンター・JAPAN/女性と子どものエンパワメント関西/市民事務局かわにし/シムズサイズ/ひょうごボランティアプラザ/あしやNPOセンター/チャイルド・ケモ・サポート基金/はちどり人権塾/しゃらく/シンフォニー/NGO神戸外国人救援ネット/えがおつなげて/神戸バーカッションフェスタ実行委員会

**竹下景子** ● 名古屋市出身。「男はつらいよ」「北の国から」など本格派女優としての活躍の一方、伝説的番組「クイズダービー」では常に話題を提供し、「お江戸でござる」では新たなファンを獲得した。環境問題や福祉問題にも関心が深く、それは2005年、愛・地球博での日本館総館長就任で大いに発揮された。「ケゲゲの女房」「坂の上の雲」など話題作にも多数出演、スタジオジブリ制作「コクリコ坂から」「風立ちぬ」では声優としても観客の心を惹きつけた。神戸の鈴木商店を描いた2014年出演の舞台「お家さん」などで、芸文センターは馴染みのホールでもある。

**林晶彦** ● 兵庫県立近代美術館で開催された「シャガール展」での伝説的なデヴィューの後、ピアニスト・作曲家として世界各地で演奏活動を展開。このメモリアル・コンサートには最初から加わっており、癒しと祈りを表現する演奏は竹下景子さんの朗読とコラボレートしてこのコンサートを、より意義深いものとしている。

**金関環** ● ジュリアード音楽院にてJ.フックス教授の門下生となる。同学院修士課程修了。ニューヨークを中心に室内楽の演奏活動を行い、J.フックス教授の助手や講師の他、NYカーネギーホールをはじめ、日本各地でもリサイタルを開催。また、関西にてラ・ストラダ弦楽アンサンブルを結成し、コンサートマスターを務める他、オーケストラにソリストや客演コンサートマスターとして出演している。

**マリオネット** ● 日本におけるポルトガルギターのバイオニア・湯淺隆と、マンドリン奏者・吉田剛士によるアコースティックユニット。独特のオリジナル音楽の創作を中心に、フォークやポピュラー音楽まで幅広い音楽活動を行っている。映画音楽、TVドラマ・ドキュメンタリー、CM音楽も数多く使われている。'95年のデビューCD『ぼるとがる幻想』は3万枚のセールスを突破し、インストゥルメンタルとしては異例のヒットを記録。以降、計14枚のアルバムを発表。2010年より湯淺が「マカオ観光局音楽大使」となるなど、国際舞台も含めて益々の活躍が期待されている。2013年『第6回石見銀山文化賞・特別賞』受賞。

**ZIPANGU「絆」マンドリンオーケストラ** ● マリオネットが主宰するマリオネット・マンドリンオーケストラのメンバーを中心に、全国から参加者を募り、本公演のために組織した団体。2012年3月には、仙台にて震災復興イベント「3・11 竹下景子 詩の朗読と音楽の夕べ」のステージで、同様に地元東北および日本中から100名以上の奏者が集結して心をつなぐ演奏した。